

# 個別施設計画【概要版】

類型：工業用水道

## 1 対象施設

工業用水道事業施設（浄水場、ポンプ場、管路等）

## 2 計画期間

平成30年度～令和9年度（10年間）

## 3 対策の優先順位の考え方

定期的な点検調査により施設の状態を把握し、緊急対応を要する場合には補修等を行う。合わせて、施設の機能や劣化状況を診断し健全性を確認しながら計画的に修繕を実施することで、更新費用を抑制しながら計画的に施設を更新し、施設の機能を維持する。

管路については、経年管かつ非耐震管である長田野向け配水管路の更新・耐震化を最優先で実施する。

## 4 個別施設の状態等

有形固定資産減価償却比率※ 51.7%（R2.3.31 現在）

※ 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表しており、資産の老朽化度合を示す指標。

## 5 対策内容と実施時期

主要な事業（H30～R9）

○老朽化・耐震化事業

・浄水場、場外施設

ポンプ設備更新、受配電設備更新、中央監視制御設備更新、水質検査機器更新 等

・管路

長田野向け送配水管路の更新・耐震化 等

○現有施設の維持

機器のオーバーホール、部品交換 等

## 6 対策費用

修繕費：約 0.3 億円／年

老朽化・耐震化事業（施設改良事業費）：約 1.7 億円／年